

情報連絡員報告総括表(平成30年5月分)

三重県中小企業団体中央会
連絡員総数 40名
回答数 40名 (100%)

業界の景気動向(前年同月比)

	売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員 <small>(臨時・パートを含む)</small>			業界景況									
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化							
製 造 業	食料品	1	3			4		1	3			4		1	2	1		3	1		4			4			2	2						
	繊維工業	2		1		3			3			2	1		2	1		2	1		3			3			1	2						
	木材・木製品		1			1			1				1		1			1			1			1			1							
	紙・紙加工品		1	1	1	1			2			2				2		2			1	1		2			1	1						
	印刷		1			1			1			1			1			1			1			1			1							
	化学・ゴム																																	
	窯業・土石製品	1		2		3			3			3			2	1		3		1	1	1		3			3							
	鉄鋼・金属	1				1			1			1		1			1			1				1		1								
	一般機器		2	1	1	2			3			3			1	2		3			3		1	1	1		3							
	電気機器	1				1			1			1		1			1			1			1			1								
輸送機器	1				1			1			1		1			1			1			1			1									
その他																																		
小計	7	8	5	2	18		1	19			18	2	4	9	7	3	15	2	4	14	2	3	16	1	3	12	5							
非 製 造 業	卸売業		1	1		1	1		1	1		2			1	1		2		X				2			1	1						
	小売業	1	2	3	1	5		2	3	1		5	1		3	3		3	3					5	1	1	2	3						
	商店街		1			1		1				1			1			1						1			1			1				
	サービス業		3	2	X				5			5			4	1		4	1					5			5			5				
	建設業	2	2						1	3		4			1	3		1	3					1	3		4			1	3		4	
	運輸業	1							1			1			1			1						1			1			1			1	
	その他		1						1			1			1			1						1			1			1			1	
小計	4	10	6	1				7	1	4	14	2		19	1	1	13	6	1	15	4		19	1	3	13	4		6	9				
合計	11	18	11	3				25	1	5	33	2		37	3	5	22	13	4	30	6	4	14	2	3	35	2	6	25	9				

最近の主要指標の前年同月比D Iの推移

(平成29年5月～平成30年5月)

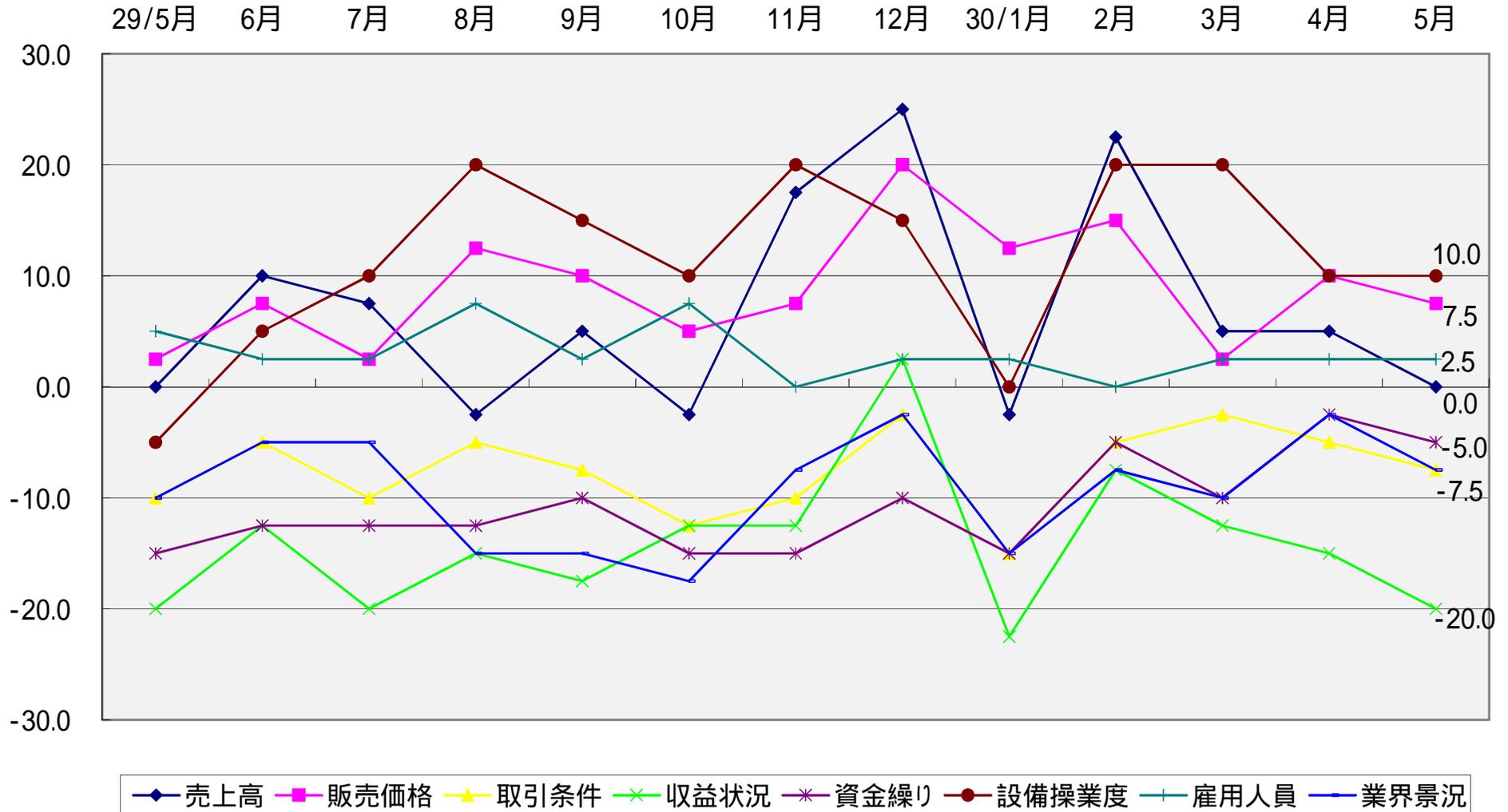
三重県中小企業団体中央会

連絡員総数 40名

	29/5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30/1月	2月	3月	4月	5月	増減
売上高	0.0	10.0	7.5	-2.5	5.0	-2.5	17.5	25.0	-2.5	22.5	5.0	5.0	0.0	-5.0
販売価格	2.5	7.5	2.5	12.5	10.0	5.0	7.5	20.0	12.5	15.0	2.5	10.0	7.5	-2.5
取引条件	-10.0	-5.0	-10.0	-5.0	-7.5	-12.5	-10.0	-2.5	-15.0	-5.0	-2.5	-5.0	-7.5	-2.5
収益状況	-20.0	-12.5	-20.0	-15.0	-17.5	-12.5	-12.5	2.5	-22.5	-7.5	-12.5	-15.0	-20.0	-5.0
資金繰り	-15.0	-12.5	-12.5	-12.5	-10.0	-15.0	-15.0	-10.0	-15.0	-5.0	-10.0	-2.5	-5.0	-2.5
設備操業度	-5.0	5.0	10.0	20.0	15.0	10.0	20.0	15.0	0.0	20.0	20.0	10.0	10.0	0.0
雇用人員	5.0	2.5	2.5	7.5	2.5	7.5	0.0	2.5	2.5	0.0	2.5	2.5	2.5	0.0
業界景況	-10.0	-5.0	-5.0	-15.0	-15.0	-17.5	-7.5	-2.5	-15.0	-7.5	-10.0	-2.5	-7.5	-5.0

(注1) 「D I」はデフレーション・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

最近の主要指標の前年同月比DIの推移



報告者名
報告年月

三重県中小企業団体中央会
平成30年5月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
製 造 業	食料品	漬物	春先から漬物原料野菜類の価格も安定してきた。消費者の漬物への関心が原料そのものから、ぬか床や浅漬の素など、「何に漬けた製品か」に移行しつつある。特に各種メディアによる「乳酸菌接種による腸内環境改善」や「免疫力アップ」のほか、「米ぬかによる認知機能の改善確認」など、健康効果への報道等もあり、需要拡大へのプラス材料は働いている。当業界の全国段階でも、より積極的に医療、料理等他業界との連携促進に努める事となり、需要拡大への効果を期待している。
		醤油味噌	業況は、良くもなく悪くもなく、というところである。業界のHACCP導入指導員研修会(2回目)が東海ブロックで7月にある。食品表示新法対応もあり、各社すべきことは多い。
		豆腐	包装資材が7月1日納品分より値上げするととの通達があった。
		製麺	三重県のイベントは今年は話題もなく、昨年と比べるとやや減少気みである。5月にJ A鈴鹿のイベントに参加し、組合員に協力してもらった。年々伊勢うどんの認知度も上がってきている。もっと三重県内の方々にPRをしていきたいと思う。
	繊維工業	テントシート	物流運賃の値上げが行われている。津市大門のアーケード撤去工事に伴い、撤去後の工事の受注に期待したいところである。
	紙・紙加工品	紙器段ボール	段ボールケースの値上げもほぼ終了したが、県外同業者と競合しているユーザーや、一部の大手企業においては難航している。5月の生産量はほぼ例年並みで推移した。
		古紙	5月の取扱い重量は、前年比で段ボール：約98%±6%、新聞・チラシ：約92±5%、雑誌・雑紙・その他合わせて：約93±6%の模様である。5月は気温の寒暖差があったが、段ボール古紙の入荷は取引先や集荷量によって増減があるようである。夏物やインバウンドの段ボール古紙入荷に期待したい。新聞古紙は集荷量が減っており、大手製紙会社の減産・マシン停止のニュースがあった。雑誌古紙は入荷が良かった。中国輸出の厳しい品質規制と価格が下落したことや、国内メーカーの消費が増えず持ち去りが減り、行政回収へ流れてきた様子である。国内製紙会社の定期修理が終わり、生産は順調とのこと。段ボール原紙等の製品輸出もあるようだが、国内消費も良いようである。従業員不足は深刻で高齢化対策も行っているが、先行きは不透明である。
	印刷	印刷	通常総会が開催された。今年度は組合員の増減がなく、64社となった。組合として福利厚生事業や県民手帳事業を行っているが、残念ながら新規拡大にはつなげられていない。また、青年部では今年もその県民手帳入札のための企画書会議が連日行われた。
	窯業・土石製品	伊賀焼	ガソリン価格の高騰の影響がでてきており、伊賀焼伝統産業会館では、売上が大きく落ち込まなかったが、伊賀・信楽古陶館では大きく減少した。入館者数については20~30%減少している。(いずれも昨年との比較)
	鉄鋼・金属	鍍金	当業界の生産量は4月とほぼ同様であった。扱う製品により多いもの少ないものに分かれ、自動車関連は横並び、電器関連は減少、その他の製品は増加傾向にあった。半導体関連は若干生産量の減少傾向にはあるが、メーカー側が今後の展開を見据えて現状維持で在庫を持ち、今後の生産増加に対応する方針で全体的には若干の増加といった傾向である。
一般機器	四日市	事業承継や人手不足等課題を抱え、もっぱら組合員一同は自助努力で頑張っている。ガソリンの値上がり等、経営環境は相変わらず厳しい。	
	伊勢	三重県産業支援センターやポリテクセンターから各種情報提供を頂いているが、組合員の活用状況についてはまだまだ温度差がある。例えばポリテクセンターで技術を学び、企業へのインターンシップを経てそのまま企業に入社するケースも多いことから、連携を一層強化していきたい。	
電気機器	鳥羽	5月に入り受発注が増加し、稼働状況は良い。見通しも良好である。	
輸送機器	鈴鹿	当業界も比較的繁忙な時期とそうでない時期があり、例年なら今の時期は比較的稼働率が低い時期に当たるのだが、今年度は設備稼働率が高いままであるという声が多い。	
非製造業	卸売業	肥料	原材料等の上昇による価格改定が予定されており、6月以降に値上がりがある。
	小売業	青果	野菜の前半は、トマト・ナス・ピーマン・果菜類・キャベツ・ほうれん草の葉物など、全体的に順調に入荷し、価格は例年に比べ2割程安い。後半は好天と高温、適度な雨に恵まれ、順調に入荷した。トマトは各産地のピークが重なり特に豊富でお値打ちである。大根・玉ねぎも安い。梅も順調に入荷した。鳥取産らっきょうはこれから入荷が増える予定。果物の前半は苺が甘みが落ちてきたが根強い人気がある。スイカ・メロンの入荷が増え価格も下がってきた。後半は愛知産スイカの入荷が最盛期で例年より多く、メロンもいろいろな種類と量が増えてきた。鳥根県デラウェアの入荷も増えてきた。

報告者名
報告年月

三重県中小企業団体中央会
平成30年5月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
非 製 業	自転車	平成29年の自転車産業の状況について今月(一財)自転車産業振興協会より、自転車生産・輸入統計が発表された。国内生産台数89万1千台(前年比:94.8%)、輸入台数67万7千8百台(前年比:99.0%)、国内向台数は76万9千台となり(前年比:98.5%)となり、国内における新車の需要台数が減少している。要因としては、人口の減少に加え、一部自転車の高騰による買い控え、スクールバスによる通学生の増加、少子化、中古自転車販売の増加等、地域格差があるものの、三重県内でもこのようなことが多く感じる。一方電動アシスト車に関しては横ばい傾向となっている。	
	小売業	電器	5月度はゴールデンウィークも好天に恵まれ、エアコンの需要が高まった。県内では各メーカー合同展示会や、お店の個展などが実施され、夏商戦への火蓋が切られた。今年も猛暑予想に向けてエアコンは好調で、厳しい消費状況の中で、冷蔵庫や4K8Kテレビでトータル前年以上の販売を目標にしている。5月10日より総務省主催の省エネ家電マーケットモデル事業に参加し、エアコンと冷蔵庫の省エネモデル(5つ星)製品の販売を進めている。
	石油	4月後半から5月前半のゴールデンウィーク商戦については、天候に恵まれ、郊外の給油所については、前半対比の販売数量を幾分達成したところもあったが、全般においては毎週の原油価格上昇と為替の円安影響のため、販売価格が変動しており、この値上げの影響において5月中旬より販売数量の減販が大きく、その影響により販売価格の値上げが思うように転嫁できない状況のため、収益についても厳しい内容で終わった。	
	スポーツ	インターハイ開始まであと約50日程となり、準備に忙しくしている。大きなイベントがあると、組合員の団結ができ、絆が強くなると他府県の理事長から聞いたが、まさにその通りで組合員で頑張り、良いビジネスの結果を出そうとしている。	
造 業	商店街	熊野市	今年のゴールデンウィークの集客施設での入込数は昨年並みである。ただ、外国人客の数は例年以上に増えている感じがした。また今月末、駅前で開催された市主催のイベントは、今年も商店街の朝市イベントとの連携をはかり、隣接併催した結果、一層の集客効果となり、出店業者全体の売上も従来以上であった。
	サービス業	旅館	今年のゴールデンウィークは4月後半から続いていた好調のまま、5月5日までとても賑わっていた。その後は例年通り1週間ほどは反動のためども閑散としていた。しかし昨年の春(3月、4月、5月)より今年は少し好調のようであった。宿泊客の発地別は首都圏、中部が多く、関西方面は年々減少しているようで、誘客対策が必要である。
		警備	5月度は、例年のごとくゴールデンウィークで休業が多く、3分の2の稼働しかないために売り上げが減少となった。
建設業	総合工事業	工事発注が順調に進み、受注額は対前年度比で倍増に近い値となり、4月のマイナス分を取り戻し、通年ベースでも16%の増加となった。息切れすることなく、このペースでの受注が確保できることを期待している。	
	内装工事業	5月分も先月に続いて前年同月比で増加となった。このまま売上が伸びていってほしいところであるが、6月は前年がかなり多かったため、厳しいと思われる。	
	水道工事業(四日市)	今月は特に大きな変化は見られなかった。人手不足の状況に関しては解消されずにいる。当面この状況が続くと思われる。	
運輸業	運輸業	燃料費が高騰してきており、経費増となり、収益が低下した。人材確保難である。	

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
一般機器	四日市	政府は経済対策をおろそかにして、省庁の書類改ざんや森友、加計問題で明け暮れている。政治不在の日本の将来が不安である。
小売業	スポーツ用品	軟式野球のボールの価格が全国的に破格の安価となっている。税抜き7,250円のもの、4,440円で販売されている。公正取引委員会には我々業者の言い分を聞いていただき、安ければなんでもよいということを改善していただきたい。
サービス業	旅館	「宿泊業の生産性の向上」をテーマにした講演会等が各地で開催されているが、成果は出ていないのが現状である。今年度の県予算で「宿泊業の生産性向上プログラム支援事業」として702万円計上頂いた。折角の予算を有効に使って効果が出ることを期待する。
運輸業	トラック	働き方改革等労働時間の改善には荷主の理解が不可欠である。関係省庁より荷主企業等にトラックドライバーの長時間労働改善に配慮するよう徹底して欲しい。